

道路特定財源の暫定税率維持と

地方道路整備臨時交付金制度の維持・拡充を！

～ 地方切り捨てとなる暫定税率廃止には断固反対！ ～

これまで都市部に先を譲り、整備が遅れてきた地方にやっと道路整備の順番が回ってきたところ。道路特定財源が脅かされることは「地方切り捨て」と言わざるを得ません。

ガソリン税（揮発油税）をはじめとする道路特定財源は、私たちの暮らしを支えるための大切な道路整備財源です！

助かる「命」も助からない

和歌山県の山間部には、大きな病院までの搬送に1時間以上かかる地域があります。
1分1秒を争う急な病気やケガ。
このままでは助かる命も助かりません。

高速道路では大渋滞が発生

和歌山県の高速道路は暫定2車線の区間が多く、慢性的な大渋滞が発生しています。
また、対面通行のため交通事故が多発しています。

和歌山県の道路の現状

今や道路はチャンスとしてのナショナルミニマムの保障として最も大事なものの

ビジネスチャンスも生まれない

和歌山県の大半の地域には、未だ高速道路が行き届いておらず、企業誘致も進みません。

観光アクセスに時間がかかる

和歌山県には世界遺産をはじめとする豊富な観光資源がたくさんありますが、道路整備が遅れているため、観光アクセスに多大な時間がかかってしまいます！

災害時には生活・産業活動がマヒ

沿岸部では生活・産業・観光などの大部分を国道42号が担っており、大規模災害時に国道42号が寸断されれば、緊急物資が行き届かなくなり生活ができなくなるとともに、産業等にも多大な影響がでます！

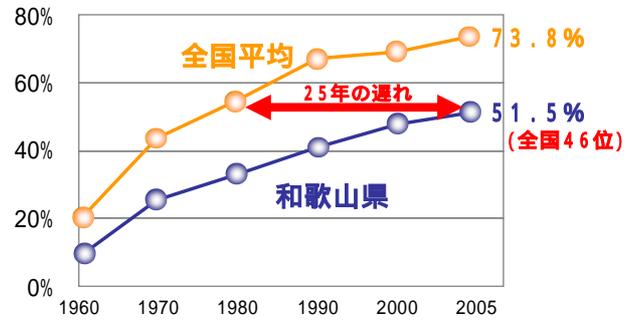
「道路整備はもう終わった」とは言わせない！

道路整備、特に高速道路は和歌山県民の悲願！

高速道路などの整備はまだまだ道半ば！



和歌山の道路改良率は全国ワースト 2 位！



国道・県道の改良率(道路統計年報)

和歌山県は、国道・県道の改良率が51.5%と全国46位の状態にあり、全国平均で約25年遅れています。高規格幹線道路に至っては、計画延長が217kmであるのに対して、91.7kmしか供用しておらず、供用率はわずか42.3%。「道路整備はもう終わった」とはとても言えない状態にあります！

暫定税率がなくなれば・・・

国全体で特定財源が2.7兆円の税収減！
 県・市町村合計で約170億円、県では約120億円の減収となる！

県民悲願の高速道路や、
 日々の暮らしに必要な生活道路などの早期実現が不可能に！！



ガソリン代が値下がりし、
 東の間の幸せを感じるかもしれないが・・・

一般財源を投入しながら道路整備
 をしている状況で、無駄な道路がどこにあるのか！？
 必要な道路は造ると言うが、不足する財源はどうするの！？

将来の可能性がどんどん狭められ、
 私たちの子孫が働けなくなってしまう！

県民税の3分の1にも相当する減収額をどのように賄うのか？
 消費税率でも上げるのか！？

私たちは、^{あざむ}地方を欺く甘い言葉にダマされない！